



当日基地上空で撮影されたオスプレイ

オスプレイ訓練
やめろ!



8/26

百里基地反対連絡協議会
(百里連協) が提起!

百里基地正門前 抗議集会

「オスプレイ訓練やめろ! 百里基地正門前抗議集会」が、8月26日(木) 午前10時からおこなわれました。

防衛省北関東防衛局は、17日、県と5市町に対しオスプレイ初回訓練は26日午前10時から午後3時の間に実施し、1機が計器進入訓練をするという電話連絡をしていました。住民への説明は一切なく、自治体への電話連絡のみでした。そのため、基地周辺の26行政区長でつくる「百里飛行場周辺整備協議会」も、防衛大臣、北関東防衛局長、知事、市長などに「オスプレイの訓練は危険性が高い」として、8月24日(火)、文書で「訓練中止」を申し入れています。オスプレイ訓練は「8月以降。月に複数回。離着陸と計器進入など」とされています。

集会は、男性二人の妨害者の突然の乱入によって10分程開始が遅れました。集会中も参加者にカメラを向ける、暴言を吐く、拡声器を使うなどの悪質な行為をくり返しました。彼らが乗り付けた高級外車は習志野ナンバーのレンタカーでした。一人の男性は、「もっとがんばらないとお金をもらえない」など軽口をたたいていました。もう一人は「自衛隊のみなさんに感謝しろ」などと怒鳴りながら参加者を挑発しました。110番通報し、3台のパトカーと6人の警察官が到着したのは集会後でした。また、自衛隊の責任者も見て見ぬふりをしていました。

前回の7月29日の抗議集会やこれまででも、このような妨害行為はありませんでした。彼らの素性や資金源等の背景は定かではありませんが、平和運動などを敵視するような動きに注意深くなら

なければならぬのかもしれない。

各団体からの抗議は、百里平和委員会事務局長の栗又衛さんが口火を切り、「茨城平和擁護県民会議」鈴木博久代表、「農民運動茨城県連合会」村田深事務局長、「社民党茨城連合会」椎野隆幹事長、「日本共産党茨城県員会」江尻加那茨城県議会議員、「新社会党茨城県本部」杉森書記長、「百里基地反対同盟」梅沢優さんと続きました。

参加者は、輸送機V22オスプレイ1機が10時40分すぎ、基地の南側から飛来したのを目撃し、さらに11時10分すぎに2度目の進



入がありました。その後、海上自衛隊館山航空基地へ向かったと報道されています。

最後に「いのち輝くいばらきの会」から県知事選に立候補した田中しげひろさんから寄せられたメッセージが読み上げられました。田中県知事候補は「百里基地でのオスプレイ訓練中止」を選挙公約として掲げている唯一の候補者です。市民と野党の共闘によって県政を変えなければ国のいいなりのままであることが、オスプレイ訓練問題からも明らかです。

(県平和委員会事務局長 篠原睦)

千葉・木更津駐屯地のオスプレイが 茨城・百里基地で訓練を開始

千葉県の陸上自衛隊木更津駐屯地には、現在7機のV22オスプレイが一時的に配備されています。そのうちの1機が、高度や姿勢を計器に頼って飛行する「計器侵入訓練」を行うため、8月26日(木) 午前10時過ぎ、航空自衛隊百里基地上空に飛来しました。

誘導する計器の機能を確認するための試験飛行です。百里基地上空では高度を下げ、基地上空を2回ほど通過しました。しかし基地には着陸せず、そのまま海上自衛隊・館山基地へ向かい、館山基地で離着陸訓練をおこないました。

V22オスプレイが千葉県外で飛行訓練を行うのは初めてで、今後は静岡県東富士演習場などで訓練をする予定と言われています。オスプレイは最終的には南西諸島の防衛のために17機が佐賀空港に配備される計画ですが、地元の佐賀県の漁港などが反発していて、計画は難航しています。

北関東防衛局は、「百里基地でのV22オスプレイの訓練を毎月数回実施する」と言っています。今後拡大されることは明白です。米国はオスプレイの採用を各国に要請していますが、余りにも危険なため採用した国は日本以外にありません。危険なオスプレイ訓練は断じて許すわけにはいきません。



栗又衛氏(右端)





県平和委員会は「市民連合」とともに、野党と市民の共闘で「戦争法の廃止」と「立憲主義を守る」ことを求め、この立場で政治の変革をめざしています。9月3日(金)菅首相が総裁選出馬断念を表明しました。市民連合は以下の声明を出しました。総選挙に向けて、情勢は大きく転換しつつあります。

菅義偉首相の退陣に関する市民連合の声明

9月3日、菅義偉首相は自民党総裁選挙に出馬しないことを表明し、首相就任以後わずか1年で退陣することとなった。菅氏の政治手法の特徴は、日本学術会議会員の任命拒否から始まって、人事権を振りかざして敵対するものを屈服させる点にあった。政府与党内部ではその手法により支配を貫徹することができて、新型コロナウイルスをはじめとする課題の解決には全く役立たないばかりか、科学的知見の無視、多様な意見との対話の拒否という独善的な政治姿勢は、オリンピックの強行開催など問題を悪化させるばかりであった。統治能力を失い、国民の不信を集めている菅首相が退陣するのは当然である。

自民党は総裁選挙で菅政権の失敗を洗い流し、政党イメージの

ロンダリングを図るのであろう。しかし、今や自民党は根腐れした状態であり、だれがリーダーになってもその木に実がなることはない。有権者の審判を得る衆議院選挙を間近に控えて、安倍晋三、菅義偉の過去9年間の政権が犯した憲法無視、権力の私物化、虚偽と情報の隠ぺいを総括することなしに新政策を競うかのごとく演出するのは、国民を欺く破廉恥な所業である。

市民連合は、立憲野党の政策合意に基づき、来る衆議院選挙において、民主主義を愛する市民とともに、市民と野党の総力を結集して政権交代を実現するために、引き続き全力を尽くしたい。

2021年9月4日

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合



「いのち輝く いばらきの会」は県知事選挙前日の9月4日(土)、選挙活動の最終盤に当たって以下の訴えを明らかにしました。同日、東海村長選が行われます。「東海第二原発の廃炉」を掲げて立候補した「いぬいやすよ」候補(元茨城大学教授)を「いのち輝く東海の会」が支援してたたかいました。



劇的情勢のもとで迎えた茨城県知事選挙の投票日 今日・明日の踏んばりが当落を左右

2021年9月4日

いのち輝く いばらきの会選挙対策本部長 田村 武夫
連日のご奮闘に敬意と感謝を申し上げます。

さて本日、茨城県知事選挙戦の最終日を迎えました。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言が8月20日に発出されるなか、田中しげひろ候補は本日を含め17日間県内各地を精力的に遊説を行い選挙公約の実現を訴えてきました。

「県庁は橋本知事時代よりずっと働きづらくなった、大井川知事ではダメだ、もう期日前投票をしてきた、と県職員の声。」「田中しげひろさんに立候補を決意していただいてありがとうございます。」「告示ビラを見て、投票したいが元茨城大学副学長という人は誰だ、教えてほしい。」等々、日々田中しげひろ候補に対する期待と支持が広がっています。

一方、4年前菅官房長官時代に官邸主導で茨城県知事候補者として送られた大井川和彦氏は、小泉進次郎衆議院議員をはじめ自民党大物議員の支援を受けて、三つ巴の選挙戦(鶴田まこみ候補と現職橋本昌知事)を制して県知事に就任しました。大井川知事はこの4年間「県庁改革」や「選択と集中」を県政運営の柱に据え「儲かる県政」「稼げる県政」部門には人も予算もつけて事業を推進してきました。その極めつけは、毎年大企業の県内本社移転に50億円、豪華ホテル誘致に10億円の県費補助や豪華釣り堀と評される常陸那珂港建設、霞ヶ浦導水事業、人口減少で水余りが続くもとで八ッ場ダム建設などの不要不急の大型公共事業に湯水のように県

民の税金を注ぎ込んできました。橋本県政6期24年、大井川県政1期4年、計28年間はピタリとも県政運営の姿勢は変わりありません。そうした県政運営が全国最低クラスに放置されている医師数や保健師数、民生費、児童福祉費予算に表れているのではないのでしょうか。東海第二原発の再稼働についてもNOの態度を示さず、県民投票を求める約9万筆の署名にも明確な態度表明を行わないという、無責任極まりない姿勢です。

いのち輝く いばらきの会の田中しげひろ候補は「なによりも命とくらし」最優先の県政の実現を公約に掲げ、新型ワクチンの迅速な接種、いつでもどこでも何度でも無料で検査の実施。臨時医療施設の開設、自宅待機者ゼロをめざしています。

昨日、菅義偉首相(自民党総裁)は、自民党の臨時役員会で任期満了に伴う総裁選(17日告示、29日投開票)に立候補しないと表明し、政権を投げ出すという劇的な事件が起きました。無為無策の新型コロナウイルス感染症対応や東京五輪・パラリンピック開催の強行などのよって内閣支持率が過去最低水準(26%・毎日)に落ち込むなか、国民世論と運動によって退陣に追い詰められたと云っても過言ではありません。この劇的情勢の変化をどう茨城県知事選挙の投票に結びつけるかが決定的に重要になっています。誰が知事をやっても同じ、投票しても何も変わらないと諦めている有権者も多数存在します。そういう人達へ今日、明日の声かけ運動、家族そろって投票に行こう、棄権防止の呼びかけが当落を決します。皆さんと共に投票箱の蓋が閉まるまでいっしょに頑張りぬきましょう。

平和かわら版

No.917 2021 9. 5

【平和新聞茨城版】

発行 茨城県平和委員会

〒310-0912水戸市見川5-127-281 Tel/Fax.029-251-2806

お問合せは… E-mail: ibahei@amber.plala.or.jp

情報&交流

茨城県平和委員会FaceBook

www.facebook.com/groups/449291196000108

